

CPUの種類と動作周波数からその処理速度を一覧できる表

発売時期	2009年頃	2007年頃	2006年頃	2007年頃	2008年頃	2007年頃	2008年頃	2005年頃		2003年頃		2001年頃		
コア数	4	4	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1	
処理性能 (目安です)	Core i7	Core2 Quad	Core2 Duo	Pentium Dual-Core	Celeron Dual-Core	Celeron (Core世代)	Atom	PentiumD	CeleronD (PenD世代)	PentiumM	CeleronM (PenM世代)	Pentium4	Celeron (Pen4世代)	
6	11000	3.2												
	10500													
	10000													
	9500		3.0											
	9000		2.8											
5	8500		2.6	3.2										
	8000		2.6	3.0										
	7500		2.5	2.9										
	7000		2.4	2.8										
	6500		2.1	2.6										
4	6000			2.4	2.7									
	5500			2.4	2.5									
	5000			2.2	2.4				3.6					
	4500			1.9	2.2	2.2			3.4					
	4000			1.8	2.0	2.0			3.2			3.8		
3	3500			1.6	1.6	1.8	2.0		2.8	3.5	2.1		3.2	
	3000					1.6	1.8		2.6	3.2	1.8	2.0	3.0	
2	2500						1.6			2.8	1.5	1.7	2.6	
	2000									2.3	1.4	1.4	2.2	2.5
	1500							1.6			1.0	1.1	1.6	1.8
1	1000							1.2				0.8		1.0
	500													

色分け表示の意味	6	XPとVistaがともに非常に快適に動作する	3	XPが快適に動作し、Vistaが最低限の速度で動作する
	5	XPが非常に快適に動作し、Vistaが快適に動作する	2	XPが標準的な速度で動作する (Vistaでは使い物にならない)
	4	XPが非常に快適に動作し、Vistaが標準的な速度で動作する	1	XPが最低限の速度で動作する

この表から以下のようなことが分析できるようになっています

Pentium4\_3.2GHzのCPUは、PentiumM\_2.1GHz、およびCore2 Duo\_1.6GHzと同等の処理速度を持つ

同じ3.0GHzの動作周波数を持つCPUでも、Pentium4に比べてCore2 Duoは2.5倍、Core2 Quadは3倍の処理速度差がある

Windows XPで一般的な作業をするなら、動作周波数が1.0GHzを超えているCPUを選択するのが望ましい

Windows Vistaを快適に動作させようと思ったら、シングルコアのCPUを選択してはいけない

注: この表は簡易的な比較を目標としているため、CPUの細かい性能(FSBやL2キャッシュ)の違いについては言及していません  
 参考サイト: CPUパフォーマンス比較表 MAXIMUMS ROOM - <http://maximums.gatt.nobody.jp/cpu.html>

中古パソコンショップ アイグループ 安部 豊  
 2009年5月20日